

九州コ・ワーケーション推進コンソーシアム
成果発表会

**孤独のない社会を
創りましょう。**



孤独のない社会を創るために。

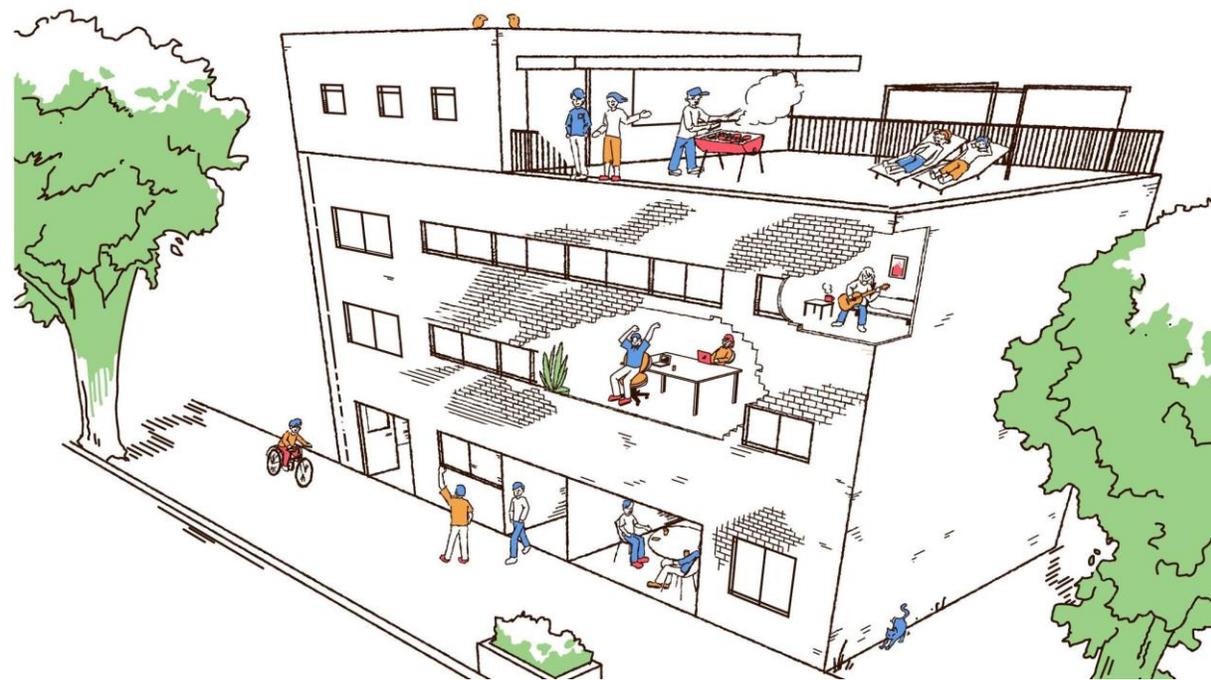
プロジェクトの概要

「暮らす」と「働く」を融合した
『コミュニティ型共同住宅』をつくります。

「職」・・・起業家創出や、テレワークの推進、
地域の雇用機会を増やす

「住」・・・個人のプライバシーを守りながら、
共有（安心・安全）を実現

「コミュニティ」・・・生活不便や孤独の解消



3F

フロア：スタート時 1世帯居住 ⇒ 後々、シェアハウス

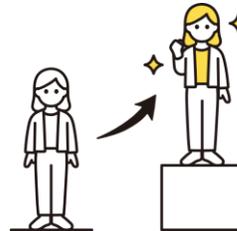
2F

フロア：2世帯居住：SOHO（自宅兼事務所利用）



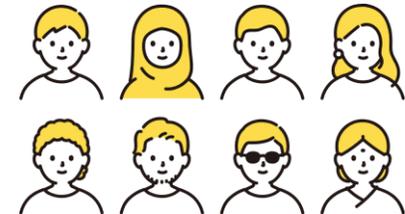
① コモンスペース

日中：コワーキング利用
夜間：コリビング
随時：イベントスペース



② 起業支援サービス

- ・経営者によるメンタリング
- ・イベント、事業発表などの機会提供
- ・販路拡大支援
- ・ウイズスクエア全店舗の利用



③ コミュニティサービス

- ・コモンミール（食事会）の実施
- ・ともに暮らし会議：生活分担サポート
- ・定期連絡グループ

1F

フロア：入居者および会員制サービス加入者が家族や仲間のように交流できる コモンスペース（入居者以外もサービス利用も可）

事業の成果発表

実質活動期間：2021年7月～2024年2月まで

» アクション&アウトプット

コレクティブハウス	アンケート・ヒアリング数	247名
	関係人口・協力者	499名
	クラファン支援者数	314名
社会起業家支援	イベント開催数	26名
	イベント参加者数	1486名

プロジェクトの結果

スタート時の目標

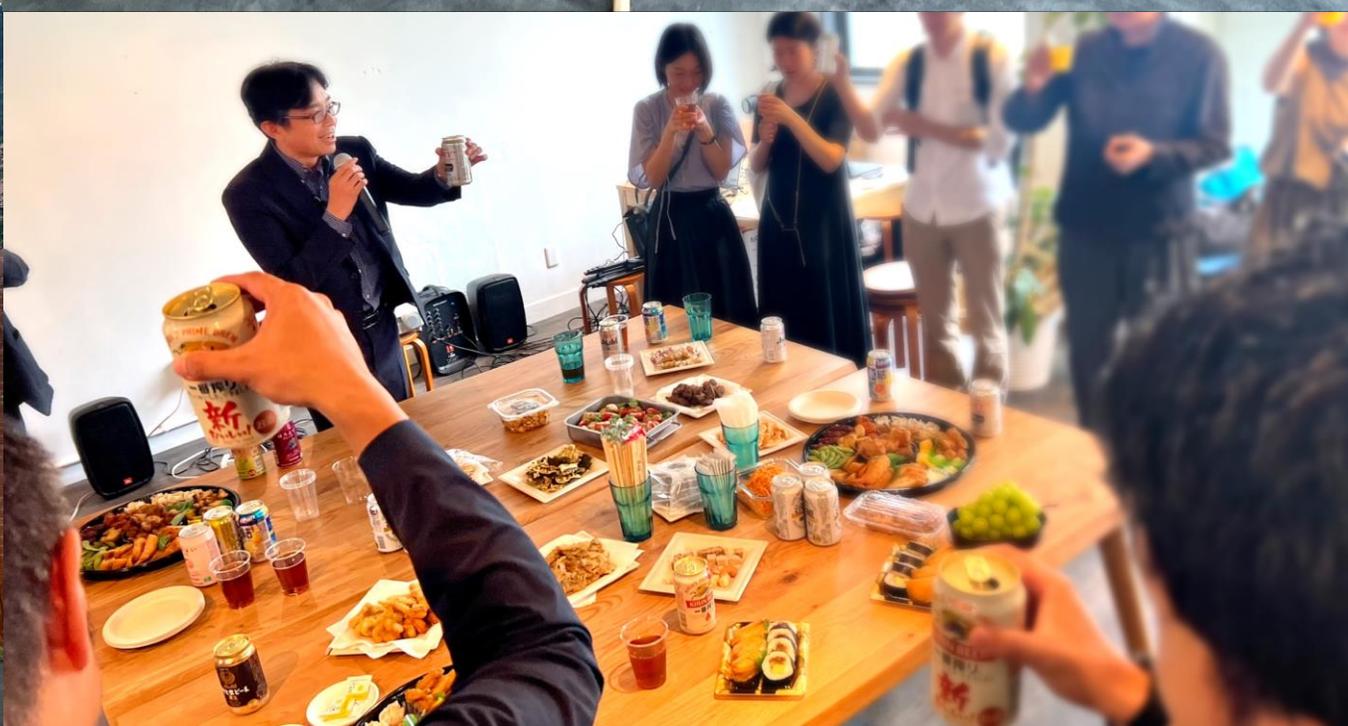
- プロジェクトスタート時点では3年の間に「コレクティブハウス」の入居者がコミュニティを形成し、起業活動を行うところまでを想定していましたが、目標は達成できませんでした。

終了時の結果と成果

- 2024年3月14日の時点で、物件のリフォームがほぼ完了し1階はコワーキングとして50%稼働、2階3階は本格的な入居者募集の段階へ入りました。

想定外の問題	問題の原因	変更点	結果
物件の選定と取得	情報と知識不足	購入から借上げへ変更	築50年の物件を一棟借上げ
物件の契約	長期的視野と専門知識の不足	不動産屋からオーナーへ	オーナーとの賃貸借契約
リノベーション①	情報・知識・経験不足	専門家委託から自社管理へ	圧倒的な工期の遅れ
リノベーション②	地域住民との人間関係	1階、2階のみの改装へ変更	3階の内装は自社負担で着工
入居者募集の遅れ	時間と人員不足	自力だけでなく地域連携へ	2名のお試し移住
資金繰りの悪化	既存事業の低迷	クラブファンでの調達	自己資金分500万円を獲得
既存事業の影響	リソース不足と采配ミス	役割分担など再調整	現在進行形







ブレイクスルーポイント

物件取得の着眼点を変えるきっかけとなった地域コミュニティのリーダー的存在、菊池氏との出会い

» さまざまな課題

» ビジョンと現実の乖離

1. エリアと物件の選定
2. パートナーの候補
3. 厳しい制約
4. 不動産業界に共感得られず
5. 既存事業とのバランス
6. コミュニティ創りの難しさ
7. マネジメントの機能不全

» 菊池勇太さんとの出会い

» ひとを起点にした現実

» プロジェクトが動き出す

» プロジェクトの再起動



孤独のない社会を創りましょう。
Copyright©2023 Trust Inc. All Rights Reserved.

今後の課題と私たちの展望

2040年問題へ向けて

- » ソロ社会におこる「孤独・孤立」の問題を解消し
経済活動と共助の仕組みを両立させる
安心して暮らせるコミュニティを全国へ展開すること。
- » まちづくりではなく“ひとづくり”という発想で、
より良いコミュニティの中心となる若者の育成を目指す。
- » 入居者だけでなく、地域コミュニティとの連携により、
地域全体のコミュニティ機能と基盤強化を念頭に
災害やトラブルに強い新しい地域コミュニティを実現する。

今後の課題と展望

今後の課題

» 入居者の募集と稼働率

1. コンセプトと入居者のマッチ度
2. 企業誘致（テレワーク含む）
3. 起業家支援と雇用の促進

» コミュニティの醸成

1. 地域コミュニティとの関係強化
2. 行政との連携
3. アーティストレジデンスの実現

私たちの展望

» コミュニティ型共同住宅を全国へ

1. 門司港ロールモデルをブランディング
2. コミュニティマネージャーの養成
3. 災害にも強いコミュニティ創りへ発展





“孤独”をなくす

教えて先輩！ オリィ研究所 吉藤オリィさん

不登校を経験も今や働く意味に 「孤独をなくす」に懸ける人生

2023年03月17日（聞き手：梶原龍 芹川美侑）



孤独のない社会を、一緒に創りましょう。

孤独のない社会を創りましょう。

ありがとうございました！

👤 Hisashi Fukuzawa & Yukika Ono

☎ 092-406-5539

✉ info@tokyo-trust.jp

🌐 <https://www.youtube.com/@tomonikurasu>

